学校番号	412

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	学校独自で作成したプリント						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段の生活のさまざまな現象や課題に関心を持とう。
・食生活・衣生活についての知識を身につけ、暮らしと社会の課題を結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出そう。
・実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な技術を身につけ、生活の向上に役立てよう。
・環境や社会、経済について総合的に考え、持続可能な社会を作る暮らしの担い手になろう。

2　学習の到達目標

a.　知識及び技能：
　家庭生活全般を文化という観点でとらえ、衣食住および経済生活を中心に生活の営みと社会とのかかわりについて理解し、実践的・体験的な学習を通して、生活をデザインするための知識・技能を身につける・

b.　思考力、判断力、表現力等：
　家庭や地域社会における生活のなかから課題を設定し、習得した知識や技能をもとにして、考察を行い適切に判断し、課題解決する能力を身につける。

c.　学びに向かう力、人間性等：
　持続可能な社会の構築に向けて、自立した消費者として主体的に課題解決に取り組み、家庭や地域社会における生活の充実向上を図る能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文化としての生活の営みを総合的にとらえ、社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むための知識・技能を習得している。	生活の中から問題を見出して課題を設定し、習得した知識や実践的技能をもとに、適切に判断して課題を解決する能力が身についている。	様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	食文化と調理	日本の食文化と行事食 食品の衛生と安全 調理の基礎、調理実習	a:日本の食文化や行事食について、理解を深め、食生活を安全に営むための食品衛生の知識や調理技術を身につける。 b:食文化の継承に配慮した食生活について課題を見出し、その解決を目指して考えを表現することができる。 c:食生活について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題
	栄養素の役割と調理	栄養素の役割と食事計画 これからの食生活 調理理論と調理実習	a:　食品の栄養的特質や、調理上の性質について理解し、健康や環境に配慮した食生活を営むための知識を身につけ、目的に応じた調理に必要な技術を身につけている。 b:　食品の調理上の性質や環境に配慮した食生活について課題を見出し、その解決を目指して考えを表現することができる。 c:　食生活について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 提出課題
二学期	衣生活と被服実習	被服の役割 被服の管理 被服実習(作品制作)	a:被服の機能と着装、被服材料、被服管理などについて科学的に理解し、平面構成と立体構成について理解し、基本的な縫製技術を身につけている。 b:　被服管理と着装、快適な衣生活などについて、課題を見出し、その解決を目指して考え表現することができる。 c:衣生活の課題に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。。	定期考査 成果物	定期考査 成果物 提出課題	授業態度 提出課題

	経済生活	経済的自立と現代の消費社会 情報収集･比較と意思決定 これからの消費生活と環境	a:消費生活の現状と課題、契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理し、消費者の権利と責任を自覚して行動することができる。 b:自立した消費者として、責任ある消費について課題を見出し、その解決を目指して適切に判断し表現することができる。 c:様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、経済生活の課題解決に主体的に取り組んだり改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 提出課題
三学期	衣生活実習	被服実習(手芸作品)	a:被服材料の特徴を踏まえて、作品の平面構成と立体構成について理解し、基本的な縫製技術を身につけて作品を完成させることができる。 b: 被服製作などについて、課題を見出し、その解決を目指して考え表現することができる。 c: 衣生活の課題に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	成果物	成果物	授業態度 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度